

教科目名 米文学特論 (American Literature )

学科名・学年 : 全専攻1年

単位数など : 選択 2単位 (前期1コマ, 学習保証時間22.5時間)

担当教官 : 大木正明

| 授業の概要   |   |                                |
|---|---|--------------------------------|
| <p>工学者としてというより、国際人として、あるいは1人の人間として、個人のあり方を改めて深く探るための講義である。そのため杓子定規的にものごとを考えがちな工学的発想から離れ、集団の中で個人を尊重するとはどういうことか、あるいは個人という存在が集団の中で如何に生きていけるのか、といった問題を主に取りあげる。英語の勉強は勿論のこと、人間の存在のあり方そのものを、アメリカの文学者、そしてその作品をとおして見つめなおす。</p>   |   |                                |
| 到達目標  |   | 大分高専目標(A1), JABEE 目標(a)        |
| <p>(1) これまでに学んだ英語の4技能を、もう一歩進めたレベルに引き上げる。<br/>                 (2) 各講義で取り上げられるテーマについて知見を深め、人間存在の深さを理解する。<br/>                 (3) 外国語としての英語ではなく、ネイティブが持つ英語感覚、あるいは情感を感じ取る。<br/>                 (4) 毎回ごとの講義の理解はもちろんのこと、継続的な自学学習の大切さを知る。</p>   |   |                                |
| 回   | 授 業 項 目   | 内 容                            |
| 1   | 作家について  | 前期の概要説明と取りあげるF.S.フィッツジェラルドについて |
| 2   | 歴史的背景   | 1920年代のアメリカと「金ピカ時代」について        |
| 3   | 作品の重要性  | 作品『偉大なるギャツビー』の文学的位置について        |
| 4   | 批評の歴史   | 作家および作品に対する様々な批評の紹介            |
| 5   | ウエスト・エッグ  | 登場する人物と地名についての考察               |
| 6   | 宗教的側面(1)  | キリスト教的な立場から見た作品の性格             |
| 7   | 宗教的側面(2)  | 登場人物・主人公の宗教性について               |
| 8   | ギャツビー   | 作家と主人公との関係および主人公の性格について        |
| 9   | 人間の不注意さ   | もう1人の主人公デイジィについて               |
| 10  | 文明の解体   | 脇役トム・ブキャナンと1920年代の文明について       |
| 11  | 角砂糖と灰の山   | 脇役ジョージ・ウィルソンとマートルについて          |
| 12  | 車と運転技術  | 作品の象徴でもある黄色い車と当時の運転について        |
| 13  | 見ることと読むこと   | 物語の展開と文学技巧について                 |
| 14  | 散文とは  | 作品の文体およびプロットの技術について            |
| 15  | 文学とは  | 前期の総括、文学と自分との関係を考える            |
| <p>履修上の注意</p> <p>数学的な問題や実験といった物を相手にする学問とは違い、心理学や哲学、あるいは社会学といった人間そのものの考察や人間同士の関係といった問題を取り扱うことになるので、そのことをしっかりと念頭において受講すること。また、英文の量も従来のようなものではなくなるので、予習をしておかないと対応できなくなる場合がある。英語の辞書は常に携帯しておくこと。実力をつけるため適宜課題を出し、レポーターを決め、発表してもらおう場合があるので、それなりの「やる気」と「忍耐力」があるものに受講していただきたい。最終的にはレポートによって評価を下すことになるが、締め切りに間に合わないものは受け付けられないので注意しておくこと。</p> |   |                                |
| 教科書   | F. Scot Fitzgerald, <u>The Great Gatsby</u> , 講談社ルビーブックス。 |                                |
| 参考図書  |   |                                |
| 関連科目  | 米文学特論II / 哲学特論I・II  |                                |
| 評価方法  | 最終成績 = (課題発表) 50% + (期末レポート) 50%                          |                                |